

久留米 たまたがる 大道芸 2019

11月16日(土) 12時～19時
17日(日) 11時～15時



16日(土)のフィナーレには、その日出演したすべての大道芸人が六角堂広場に集まる「夜会」。芸人と観客の垣根が無い、カオスな場は中毒性高し。まずは体感してください。きっとあなたもはまります。

神出鬼没のかっぱ「オクッ」。毎年出演でおなじみの存在

楽しみ方はあなた次第

11月16日(土)と17日(日)、西鉄久留米駅から久留米シティプラザまでの久留米ほとめき通り商店街や六角堂広場などの9カ所に会場を設け、18組の芸人が同時多発的に登場。アクロバットやファイアパフォーマンス、生演奏など、「たまたがる」一技を繰り広げます。
今回初登場は3組。お気に入りの芸人を見つけて追っ掛けるも、1カ所で行くような芸人を見るもよし。技に感動したら投げ銭で賛辞を表し、合間に商店街

九州最大規模で開催 18組が街なか 大集結

今年初登場のパフォーマー



【THE CHIPOLATÁS】
イギリスからやってきたエンターテイナー。ワクワクが止まらない音楽とリズムが最高にハッピー



【オジロス】
激しく情熱的なフラメンコの踊りとかき鳴らされるギターが、心と魂に響き渡ります



【ゼロコ】
笑い、驚き、じんわり、しみじみ、ほのぼの。いろいろな気持ちにさせちゃう魔法の時間をお楽しみに



技もトークもTHE大道芸人「芸人まこと」



同時開催される「まちなか美術館」。大道芸会場を飾る作品の制作が進んでいます



こうじょう雅之さんは、戦国時代や三国志などの歴戦の武人を墨で描く話題のアーティストです



ぎりぎりの狂気。青のジャージがトレードマーク「加納真実」

第27回重要無形文化財保持団体秀作展

匠の技が全国から集結

14年ぶり久留米に

11月21日(木)から12月1日(木)まで重要無形文化財保持団体秀作展を、久留米市美術館で開催します。全国の重要無形文化財保持団体16団体の現役職人たちの作品約100点を展示。日本の伝統技術と美の世界を知ってもらうのが目的です。
わが国には昔から優れた工芸技術が数多く伝えられ、その芸術性や歴史的価値は、世界的に高い評価を得ています。無形文

化財とは人間の「技」であり、匠の技を受け継ぐ個人や団体が重要無形文化財に指定されています。
本展は年に1回開催され、全国13カ所を巡回し、久留米では14年ぶり、3回目の開催です。全国から人間国宝級の作家や職人たちの作品が一堂に会します。今回は、久留米紬を始め、「柿右衛門」や「色鍋島」、「輪島塗」、「結城紬」などの伝統工芸品を展示します。

【色鍋島亀甲桐絵蓋物】
特徴は赤・青・黄を主色とした色鍋島



【伊勢型紙突彫】11月23日(祝) 24日(日)10時30分、14時、

【輪島塗時絵】11月30日(土)10時30分、14時、

【小鹿田焼成型・飛び鉦・装飾】12月1日(日)10時30分、11時30分、14時、15時30分、

文化財保護課 ☎0942・309322、FAX0942・309714

光の祭典 ほとめきファンタジー

冬の街を彩る温かな光

復刻デザイン缶バッジ登場

冬の中心市街地を光で彩る「くるめ光の祭典ほとめきファンタジー」を今年も開催します。六ツ門交差点から日吉町交差点までの明治通りは、並木をライトアップ。西鉄久留米駅東口は動物たちの光のオブジェとスノーフォールのイルミネーションが冬の街を彩ります。

デザインを公募して110作品から選ばれた、2019限定光の祭典ピンバッジを1000円で販売。売り上げは同祭典への協賛金になります。購入者は賞品が当たる抽選会に参加できます。今年は、過去のピンバッジのデザインを復刻した缶バッジ

イルミネーション点灯式

点灯式は、11月15日(金)17時30分から西鉄久留米駅東口広場2階で行います。15時から19時までオープニングイベントを開催。会場にはステージや飲食ブースを設けます。

期間11月15日(金)から来年1月13日(祝)までの17時～24時
くるめ光の祭典実行委員会 (ハイマート久留米内) ☎0942・377111、FAX0942・377955、info@hightart-kurume.co.jp



2019 限定ピンバッジ



【小手廻り】
重要無形文化財である久留米紬

【久留米紬 手くぶり】11月21日(木)、23日(祝)、24日(金)、30日(土)、12月1日(日)10時30分、14時、11月21日(木)は14時～16時のみ

市ホームページ
文化財保護課へ
詳しくはQRコード



市ホームページ
商工政策課へ
詳しくはQRコード

